

学校運営協議会議事録

作成日：令和 8 年 6 月 18 日

会議名：令和 8 年度 第 1 回 小田原高等学校 学校運営協議会

日時：令和 8 年 6 月 18 日（木） 14：30～15：30 場所：第一会議室

時程・議題

（１）学校運営協議会委員委嘱等 13:30～13:40

① 校長挨拶

② 委員委嘱等

（２）全日制授業観察 13:40～14:15(全日制の 4 校時 13:10～14:15)

（３）学校運営協議会：14:30～15:30 【学校評議委員会委員、学校担当職員】

・司会：副校長 ・事務局(全日制/定時制)

・記録：笹嶋

【出席者】

学校評議委員会

委員 4 名（欠席 1 名）

学校関係者

校長 副校長 全日制教頭 定時制教頭 全日・定時各グループ総括教諭、教諭

議事録

1. 協議会の目的と基本方針

校長より

- ・「第三者的な視点から学校教育のブラッシュアップを図りたい」
- ・ 県教委に提出している目標を基に、評価に向けた更なる改善を進める

2. 全日制課程の成果と次年度方針

2-1. 教務グループ

- ・ SSH 重点校として魅力ある学校づくりを推進
- ・ 組織的な履修・時間割作成の工夫を検討

2-2. 研究開発グループ

- ・ SSH の枠組み拡充を計画
- ・ 授業アンケートを活用した授業改善を実施
- ・ 理数探究 4 年目として、生徒の振り返りを活用し質向上を図る
- ・ 独自講座「オダテック 1」を 1→2 講座へ拡大(希望者 35 名→70 名)

2-3. 生徒支援グループ

- ・ 文武両道の成果(文化祭・インターハイ出場)
- ・ SC・SSW と連携したメンタルサポートの強化

2-4. キャリアガイダンスグループ

- 第一志望宣言を活用した進路支援
- 国公立合格者 90 名という成果
- 卒業生ガイダンスで多様なキャリア選択を支援

2-5. 総務グループ

- 美化・防災・PTA・同窓会との連携強化
- 年次別美化活動、防災訓練(年 2 回)を継続

2-6. 広報情報グループ

- 中学生への広報強化
- 校舎の美しさ、友人関係の良好さを発信
- 説明会参加者増を目指す

3. 定時制課程の成果と課題

3-1. 学習支援グループ

- 生徒数増加(秦野・伊勢原の募集停止の影響)
- ICT 活用で「わかる・できる」を実感できる授業へ
- 遠距離通学によるストレス、不登校傾向への対応が課題

3-2. 教育活動推進グループ

- 地域からのご意見への対応
- SSW・SC に加えスクールメンター導入
- 部活動参加率が 25%→58%へ上昇
- 地域清掃などのボランティア活動を継続

4. 委員からの主な意見

- 中学生への広報は「個々の想いを引き出す」形が有効
- 在校生の想いや考えを伝える広報への転換を提案
- ヒトとの繋がり希薄化への懸念
- トクリュウ関連の相談増加
- 睡眠障害・IT 機器使用管理の必要性
- 生徒の授業態度の良さを評価
- 地域犯罪(受け子)の事例から防犯意識強化を提案
- SSH の取り組みを外部へ積極発信すべき
- 歴史ある学校としての使命を強調

5. 今後の予定

- 第 2 回(11 月):中間報告・意見交換、定時制授業視察
- 第 3 回(3 月):取組報告・意見交換、全日制部活動視察